

## 介護認定審査会委員 にしの みや子 の つぶやき

みなさんこんにちは。認定審査会委員の にしのみや子 と申します。  
新帳票への切り替えは終わっていますか？旧帳票の使用は3月いっぱいまで終わります。早めに切り替えて入力に慣れてくださいね！！



～ 今回のつぶやき ～

### 「BPSD 関連の特記事項がわかりにくいわ…。手間はどれくらいあるの？」

4群の特記事項で問題行動のエピソードばかり書かれており、何らかの対応がとられているのか、介護者の手間がどれ位あるのかわからず判断の難しいものが多くみられます。  
〈にしの みや子 より〉

審査会委員 にしのみや子さん のご意見をうけて、事務局より介護認定調査員の皆様には、4群の特記事項には「状況（現象）」「頻度」「介護者の対応（手間）の有無」を必ず記載していただきますようお願いいたします。

### ★ 有無(BPSD に関すること)★

その有無だけで介護の手間が発生しているかどうかは必ずしも判断できないため、特記事項にこれらの有無によって発生している介護の手間を（対応を取っていない場合でも）頻度と合わせて記載する。

### ★書き方のポイント★

「場面」、「頻度」、「対応の有無」を必ず記載する。

例：4-3 何の前触れもなく突然泣き出すことがよくある。

例①：デイでのレク中、何の前触れもなく突然泣き出すことがあるが(週1回)、2～3分で泣きやむため特に対応は取っていない。

例②：デイでのレク中、何の前触れもなく突然泣き出すことがあり(週1回)、なだめるのに20分ほど時間を要する。他の利用者に影響がないよう別室で対応するためスタッフがもう一名必要となっている。

↓

4群 BPSD 関連の特記事項を起こっている状況（現象）の記載のみで終わらせず、定義に合った状況（現象）が特記から読み取れるか・頻度と介護者の対応（手間）が記載されているか・判断に迷った場合は選択根拠が記載されているかを提出前に再度確認してください。



今後も、審査会委員の“つぶやき”を受けて、調査員向け通信を作成していきます。  
審査会委員に読みやすい認定調査の資料づくりに、ご協力をお願いいたします。